

平成二十九年二月十九日(日)

開演 13時(開場12時30分)

会場 ぎふ清流文化プラザ 長良川ホール

入場無料 全席自由

1月4日(水)より入場整理券配布開始
当団体による観光PRや特産品の販売を行います。

清流の国ぎふ

新春地歌舞伎公演

上演外題・出演

寿式 三番叟

佐見歌舞伎公演実行委員会(白川町)

戎詣恋釣針 鈎女

美濃歌舞伎保存会(瑞浪市)

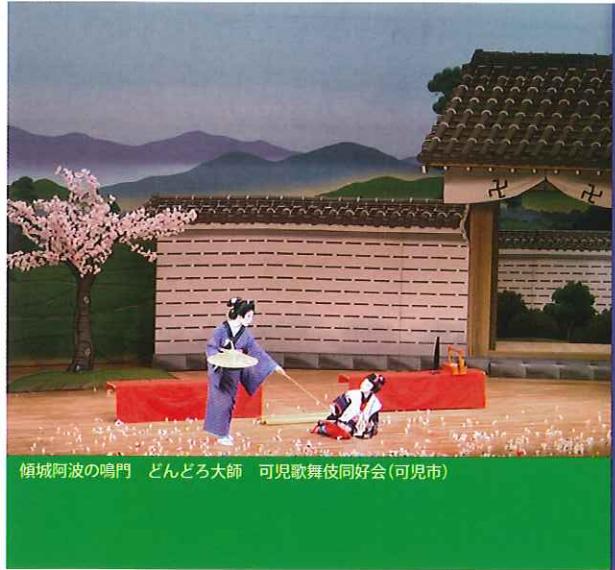
傾城阿波の鳴門 どんどろ大師

可児歌舞伎同好会(可児市)

上演順は変更となる場合がございます。



寿式 三番叟 佐見歌舞伎公演実行委員会(白川町)



傾城阿波の鳴門 どんど大師 可児歌舞伎同好会(可児市)

新春地歌舞伎公演

清流の国ぎふ



戎詣恋釣針 釣女 美濃歌舞伎保存会 (瑞浪市)

佐見歌舞伎は、庶民の楽しみとして江戸時代から親しまれ、特に昭和10年代に盛んに上演されましたが。しかし、戦後、芝居小屋が台風などの被害により失われてしまい、長い間公演が途絶えてしましました。

平成3年春、「佐見中学校体育館竣工記念公演」として37年ぶりに復活し、2日間で約一千人の観客が訪れました。

平成18年佐見歌舞伎公演実行委員会を結成。平成27年11月には10回目の記念公演が行われました。地歌舞伎を始めとした先人が築かれた文化を後世に引き継ぎたいと日々活動を続けております。

美濃歌舞伎保存会は、江戸期より瑞浪市内で盛んに行なわれてきた地歌舞伎を復興・保存するため、昭和47年、(株)日吉ハイランドの従業員および地域の有志によって結成されました。

当保存会は、江戸期より伝えられる四千点を超す衣装群の保存活用、昭和51年に再建された芝居小屋・相生座の保存活用、演じることはもちろん、衣装や着付け・かつら・化粧などの後継者の育成などを柱に活動しています。毎年2回の公演を行い、地域に密着した活動となっています。子供教室もその一環で、平成13年に立ち上げ、現在では、淨瑠璃語りや三味線の指導も行い、近年、舞台にのることができるようになつてきました。また、海外に向けての発信事業も行い、岐阜の地歌舞伎文化をチエコ・アメリカ・イタリア・フランス・ドイツ・ベトナムなどで独自に展開してきました。昨年はローマ大学での上演の機会を得ました。

■ 美濃歌舞伎保存会(瑞浪市)

1月4日(水)9時より入場整理券配布開始

入場整理券をお持ちの方から優先して入場いただけます。

配布時間 9:00 ~ 17:00

整理券配布場所

ぎふ清流文化プラザ1F 平日 岐阜県教育文化財団事務室
土日祝 正面玄関受付

※封書やメールでの申し込みも受け付けておりますので、詳しくはお問い合わせください。

岐阜県では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を本県の魅力発信の絶好の機会ととらえ、「地歌舞伎推進プログラム」を展開しています。今後、毎年継続的に、ここ「ぎふ清流文化プラザ」で各地域の地歌舞伎保存団体による公演を繰り広げます。

【白雲座公演のお知らせ】

平成29年4月8日に

下呂市門和佐の白雲座歌舞伎保存会による公演を予定しております。

可児市内ではその昔、素人歌舞伎が庶民の大きな楽しみの一つとして盛んに上演されていたと言われており、市内のいくつかの神社には、奉納芝居が行われていた痕跡があります。地歌舞伎の貸衣装屋さんから衣装やから小道具等多くの寄贈を受けたのをきっかけに、平成十二年に可児市で「歌舞伎とは何ぞ」のテーマで市民講座が開かれました。その講座修了生を中心に可児歌舞伎同好会が結成され、次世代の人達に歌舞伎の楽しさを知つてもらい、地歌舞伎という誇れる文化を手渡したいと、気持ちを一つにして精進いたしております。

■ 佐見歌舞伎公演実行委員会(白川町)

■ 可児歌舞伎同好会

[駐車場のご案内]

ぎふ清流文化プラザ駐車場 (136台)

駐車料金／3時間まで100円 それ以降30分ごとに100円

・駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

・障害者手帳をお持ちの方は、駐車料金の減免があります。

[公共交通機関のご案内]

岐阜バス

JR岐阜駅10番のりば または名鉄岐阜 (バスターミナル) Cのりば

〔三田洞線〕市民会館 / 長良川国際会議場 方面行き

「K50 長良八代公園前」、「K51 三田洞団地」、「K55 彦坂真生寺」

にて約20分。バス停「メモリアル正門前」下車 徒歩1分。

